

中川 圭子さん（ネコ・ウオッシュ代表／エルイーオー設計室・二級建築士・インテリアプランナー）

世界初の洗剤を使わないコインランドリー『Neco Wash』

創生水との出会いは、本当に偶然でした。

一昨年（一九九九年）の八月六日にガイアシンフォニー（地球交響楽Ⅱドキュメンタリー映画）を見終わったときに、深井さんがつくっておられる地球環境新聞を手渡されたのです。その新聞のなかには「洗剤を使わない水だけのクリーニング」という記事がありました。私はその記事を読んで大変驚きました。いままでの概念では洗濯に洗剤がいらぬなんてあり得ない、と思っていたからです。常識が根本からくつがえされた感じがしました。

主人と二人で「こんな水があることを知った以上、避けて通れないね」と話しました。もともと私たちは、環境に優しい住宅の設計を二〇年以上、広島県を中心に手がけてきました。主人とともに設計業務に携わり、常々「自然と共存する家づくり」をテーマにいままで環境問題と取り組み、OMソーラーの住宅を含めていろいろな形で提案をしてきました。エコジカルデザイン、サステイナビリティデザイン（持続可能性、永続可能性）とは何か、などを考えていくうちに、自然というものが内部で深く関わり合っ

いることに気づかされました。人間はひとりでは生きていけません。まわりの友人、家族そして何よりも取り巻く木や水や空気などの自然との共生が大切です。そうした考えを持ちながら、住宅設計、建築と取り組んできたのです。

そんな私たちの考え方と共通する、水に偶然出会ったのです。

そして、そんなとき、たまたま乾燥のみをしにいったコインランドリーで大きな洗濯機を見て、お水だけで布団を洗濯したくなりました。

コインランドリーだったら、たくさんの人が気軽に使え、自分たちにもできるのでは、という単純な思いから、ふだん住宅で提案していたメーカーで、コインランドリーの機械でも有名なエレクトロラックス社の代理店の方に相談いたしました。そして、メーカーのAさんにも同行していただき、加西市にある創生水クリーニング「ムー」さんに見学に行きました。そこで実際洗濯された商品を見せていただいたところ、その道のプロであるAさんが「最初は洗剤を使わないクリーニングなんてあり得ないと思っていただけ、この水なら洗剤を使わなくても汚れは十分に落ちるし、仕上がりのいい」とびっくりされたのです。

これなら洗剤を使わないコインランドリーも可能ではないか、始めてみようと思ったのです。後で知ったことなのですが、どうも世界で初めての洗剤を使わないコインランドリーだったようです。しかし、はたして、本当に洗剤を使わないクリーニング



屋根一面に植物が茂っている「ネコ・ウォッシュ」全景

が可能かどうかは多少不安がありました。自分で洗濯をして汚れが落ちることは実感していましたが、コインランドリーとして実際に認知されるのは大変なことではないか、と思っていたのです。そして正直この水に関する不安もありました。そんな思いを確かめたくて、私と主人は、軽井沢で開かれた深井さんの講演会に出席しました。

出席者の皆さんはとても熱心で、創生水の素晴らしさを体験的に話してくださいました。同室になった方とは夜明けの三時まで話しましたが、その効果の確かさが素直に心のなかに染みとおってきました。深井さんのお話と使用されている方の体験談をお聞きし、まず自分で試してみなくては何も始まらない、誰にも説明できない、と思いき、その夜から一切の洗剤を止め、化粧品も使わず、長い間依存していた健康食品、



ファサードには可愛い黒猫のキャラクターが……

薬なども止めてみました。私はもともとアトピー体質で、どんなものにも敏感でした。たとえ、新しいセーターやコートなどを着ると肌がちくちくして大変でした。いきなりすべての化粧品をやめたからでしょうか。やめた当日から肌はカサカサになりました。まる二日間肌はカサカサ状態でした。アトマイザー（スプレー容器）で何度も肌に創生水を振りかけました。しかし、それでも三、四日目に肌が真っ赤になりました。だし、熱を持っていることがよくわかり、何度もスプレーをかけました。そこで止めたらいまの私はなかったと思いますが、我慢して続けたのです。そして、なんと一週間すると肌荒れがぴたりと止まり、肌がすべすべしてきたのです。よく考えると、この現象は、これまで化粧品などを使っていた反動が一気に身体に現われたのではないか、と思うのです。いままでは



室内はムク材をふんだんに使った気持ちのいい空間になっている。洗濯機はすべてスウェーデンのエレクトロラックス社製。

自分自身で補湿しなくても化粧水で補ってあげていたものが急に何も与えられなくなり、一時的にパニックになったのではないだろうか。そして、この水を使うことにより本来身体が持っている細胞の力が蘇り自分自身で必要なだけの油分が出始めたのです。より自然体に戻ったのではないかと、思えるようになりました。

もう迷いはありませんでした。計画は私の多忙さを無視するようにどんどん進行していき、とうとう一九九九年二月一六日に世界初の洗剤を使わないコインランドリー「ネコ・ウォッシュ」が開店したのです。その日は私の誕生日でした。しかし、この記念すべき日のお客はたった二人でした。

私は、このコインランドリーが開店するにあたって、一年たったいまでも何の宣伝もしませんでした。いいものは必ず「クチコミ」で広

がると確信していたのです。私はこのコインランドリーによって生計を立てていこうとは考えていませんでしたし、多少のリスクは覚悟の上でした。私たちのやっている設計事務所のポリシーを理解していただくためのアンテナ基地になればいい、とも考えていました。あるいは洗剤を使わないクリーニングによって、地球環境のために少しでも役に立てればいいと思っていました。

でもきつと一番恩恵に預かっているのはわれわれ家族なのでしょう。オープン前にまず念願であった家中のシーツや布団、肌着などをすべて洗ってみました。

ふとんの丸洗い、と笑われる方もいるかもしれませんが、私はこれまで、ふとんに入ると身体中が痒かったのです。そういう経験を持っている方はきつとたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか。ふとんは家庭用の洗濯機で丸洗うことはできません。布団を丸洗いた、その日から寝るときのかゆみも止まり、咳き込まなくなりました。

息子にもぜんそくがあったのですが、ふとんを丸洗いしてからというものの吸引機のお世話にもならなくなりました。セーターなども洗剤を使わずに水洗いするだけで、これまでであったチクチク感がまったくなくなりました。

「ネコ・ウオッシュ」は洗剤を使わない新しい生活提案の場として、いま地域の人たちとの触れあいの場にもなっているのです。

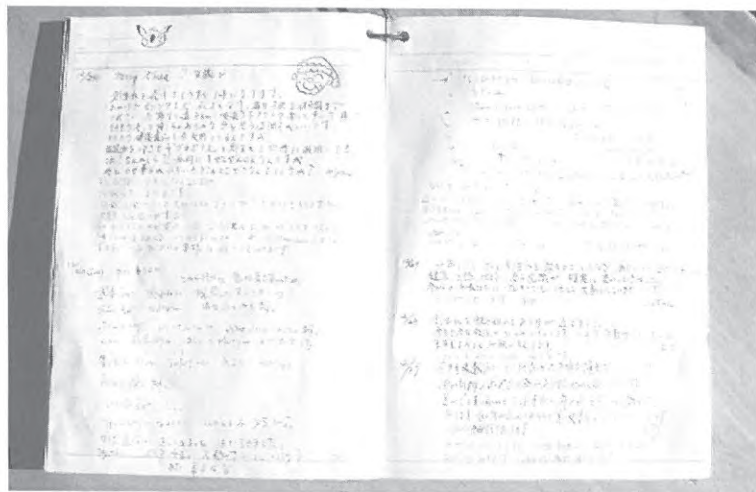
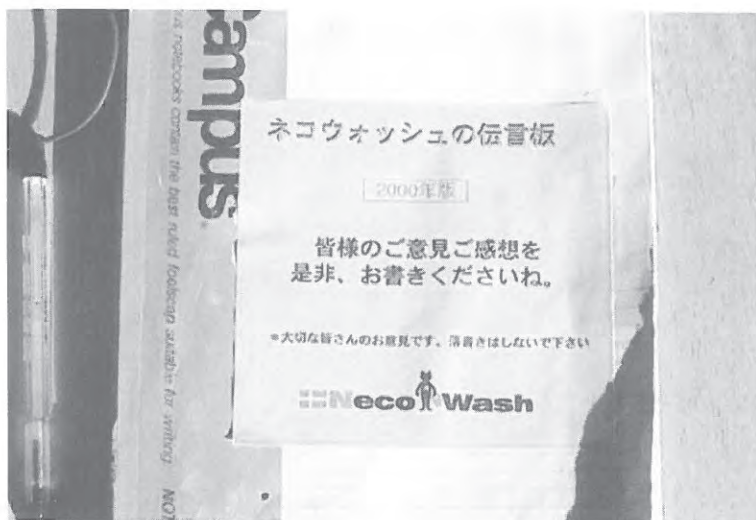
ここに来られる方は自然に意識をしっかりと持っていらっしゃる方が多く、これらの

方が主に利用されるようになりました。つまり、環境に興味のある方が圧倒的に多いのです。

もちろん創生水を無料で提供していますが、かなり遠方から水を汲みに来られる方もおられます。そしてそのお客様同士がお互いコミュニケーションしておられるのです。お客様のなかには、「いらいらしたときや疲れているときに、ここに来て、伝言板などにいまの気持ちを書いていたりすると心が癒される」という人もいらっやいます。つまり、この「ネコ・ウォッシュ」によっていままで知らなかった方とのコミュニケーションが生まれてきました。

環境問題は押しつけや脅しでは何も解決しませんし、何も始まりません。このままでは世界が終焉を迎える、といわれても実感が湧かないし、そうした脅しだけでは人は何も行動しません。私は、身近なものから、自分サイズの背伸びをしないところで環境問題を考え、小さな提案をしていきたいと思っています。そして私と同じような意識を持つてくれる人がひとりでも増えれば、命のもとである自然はきっと微笑んでくれるのではないかと思います。

最後に、「ネコ・ウォッシュ」に來られた方のご意見や感想を紹介させていただきます。これは「ネコ・ウォッシュ」内に置かれているノート（左ページの写真）にお客様が自由に書かれたものです。



お客様の生の声がギッシリつまった「ネコ・ウォッシュ」の伝言板（ノート）